

令和3年度第3学期終業式 式辞

3学期の最終日にあたり、一言、あいさつを述べさせていただきます。

皆さん、どのような3学期だったでしょうか？ 学年の締めくくりとして、納得のいく3学期だったでしょうか。

今月1日、37回生、228名が卒業されました。立派な卒業式で、皆、胸を張り堂々と、本校の誇りを胸に巣立っていかれました。必ずや、本校の3年間で獲得した力で、この変化激しく予測困難な時代を、心豊かに生き抜いていかれることと確信しています。

在校生の皆さんは、いよいよ、学年が一つ上がります。2年生は、最上級生ですね。さらに視野を広げ自由な発想で、思う存分、学校生活を楽しみ、満喫してください。二度とない高校生活、二度とない18歳です。そして、卒業後に、どのような道に進むか…しっかり考え、必ず訪れる大切な一瞬、「勝負の時」に備えてください。

1年生は、後輩が入ってきます。楽しみですね。そして、うかうかしていられなくなりましたね。さらに学びを深めていってください。深めれば、またさらなる興味、関心、おもしろさ、疑問と出会えます。ならば、さらに深めてください。「学び問う」「問いを学ぶ」学問の喜びを、とことん体感してください。

加えて、本校が誇る部活動、委員会、生徒会なども、それぞれの所属で、しっかりと新入生を勧誘して、多くの後輩を獲得し、学校全体をさらに盛り上げる中で、自らに磨きをかけてください。

さて、皆さんに来年度の校則について、昨日の生徒総会で、山下会長と徳山生徒指導部長からお話しがありました。皆さんに、押さえておいていただきたい、その趣旨ですが…まず、今の、先行き不透明で予測困難な時代を、心豊かに生き抜いていく力の獲得が強く求められている中、「決められていることをただ守っていればよい」では、全く立ち行かなくなることから、校訓である『知』：自らを知る、社会を知る、『考』：熟考する、探求する、『行』：自己実現に向け実行する、行動に移す」の精神の具現化として、校則を変更しました。

また、私たち、人間を人間たらしめている根幹には、“自由な選択”というものがあると考えています…すでに、総合学科である本校においては、教科・科目をはじめ、様々な“選択”を行いながら、日々、“総合的人間力”獲得に努めていただいています。この中、登下校の服装においても、制服を大切にしながら、友が丘生であるという“スクールアイデンティティ”を、そして、多様性を認め合い、共生社会の実現をめざし、自身の心身の状況、気候・天候、スケジュール等々により、私服も選択できる期間を設け、個人としての“アイデンティティ”を、互いに尊重しながら、さらなる人格向上へつなげてほしいと考えています。

もう一点は、社会の大きな流れがあります…まず、4月1日から、成年年齢が、現行の20歳から18歳に引き下げられます。これにより、親の同意がなくとも、携帯電話契約、部屋を借りる、クレジットカードをつくるなどが可能となるとともに、自分が住む場所、進学・就職など進路も自分の意思で可能となります。また、公認会計士、司法書士、医師免許、薬剤師免許などの国家資格取得も可能となります。

ご承知のとおり、選挙権については、すでに6年前の2016年6月22日から、それまで

の20歳から18歳に引き下げられています。

これらが、皆さんの、社会的な立ち位置なのです。中学4年生、5年生、6年生では全くないということがわかんと思います。

「校則 → 監視 → 罰則」ではない、「知 → 考 → 行」を名実ともに推し進め、“総合的人間力”を獲得してほしいと考えています。

これらを趣旨とし、服装や頭髪の規定、スマホの使用ルールなど、皆さんの責任において判断いただくことを大幅に増やすこととしました。

ただ、社会通念に照らし、これは、皆さんの成長にとってマイナスであるような状況が確認できた場合は、先生方の指導が速やかに入っていくことは、皆さんの人格形成を担っている学校においては当然でありますので、ご承知おきください。

話は変わりますが、皆さん、今回に高校入試の本校の状況をご存知でしょうか。2月の推薦入試は、約1.5倍、3月の一般入試は、約1.4倍と、県内総合学科高校ではトップの倍率、第1学区全体でもトップクラスの倍率を打ち立てました。加えて、3年生37回生の進学状況も素晴らしく、神戸大学法学部をはじめ、多くの人が希望を叶えられました。

38回生 39回生の皆さんは、このような状況下の友が丘の中にいることをしっかり認識しておいてください。胸を張り、自信を持って志高く、前へ前へ進んでください。学問に部活動に習い事などなど、忙しい毎日ですが、「絶対にできる」、いや「絶対に成し遂げるんだ」という強い心で日々を過ごしてください。そして、何事も“楽しむ”ことを忘れず、日々を送ってください。つらいことも、自身の成長の磨き砂だと考え、「どうせなら、楽しんでやろう！」の気概で突破してください。

それでは、明日からの15日間、普段、なかなか会えない人と会うこともいいでしょう、また、じっくりと、自分自身と語り合うこともいいでしょう。そして、事故などに巻き込まれないよう、「命」を大切に、健康に留意して過ごしてください。

4月8日の始業式、またここで、元気な笑顔で会えることを楽しみにして、以上、令和3年度第3学期終業式の「式辞」とします。

コロナ禍の中、皆さん、本当によく1年間頑張りました！

令和4年3月23日

兵庫県立須磨友が丘高等学校校長 川崎 芳徳